

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議 DIGファシリテーター養成講座開催 〔地震・津波対策プロジェクト〕

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議において検討中のプロジェクトの取り組みとして、高知県宿毛市をモデル地区として

- ・DIG(災害図上訓練)のファシリテーター(総合進行役)の養成
- ・参加者の防災意識の向上や防災知識の習得、より深いコミュニティ作りを目的に実施しました。



◆日時:平成21年2月3日(火)午前9:30~12:30

◆場所:高知県宿毛市
宿毛市総合福祉センター

◆参加者:宿毛市、宿毛市自主防災組織、宿毛市消防団、土佐清水市、土佐清水市消防本部、四万十町、黒潮町、大月町、三原村、幡多中央消防組合消防本部、幡多西部消防組合消防本部、宇和島市、宇和島市小学校教師、愛南町、愛南町小・中学校教師
調整会議地震・津波対策プロジェクトメンバー(四国地方整備局、高知県、愛媛県)約60名

◆講師:富士常葉大学 環境防災学部 准教授 小村隆史先生

◆養成講座の概要

◇オリエンテーション

- ・DIGの説明
- ・自己紹介
- ・東南海・南海地震発生メカニズムと被害の概要
- ・地域の将来像を認識



宿毛市長挨拶



DIGについて説明



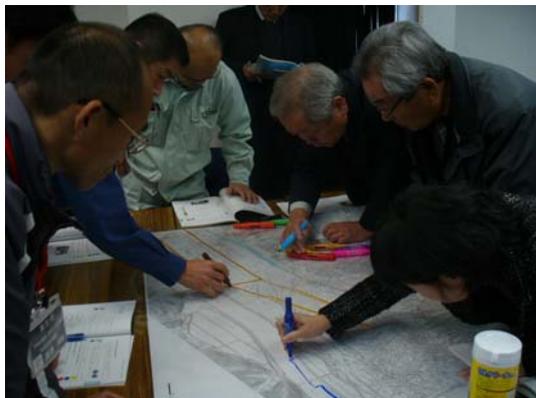
東南海・南海地震発生メカニズムと被害の概要説明

○DIGとは？

- ・DIGとは、災害図上訓練(Disaster Imagination Game)のことで、大きな地図を参加者全員で囲み、災害対策のイメージトレーニングを実施するものです。
- ・大人から子供まで参加者全員で「わいわい、がやがや」と語り合いながら課題の発見や災害対応を検討するためのトレーニングです。
- ・地域や学校、事業所で実施することにより、防災意識の高揚のみならずコミュニティ(地域相互支援ネットワーク)作りに役立つとされています。

◇ 第一段階

- ・地域の自然条件、まちの構造の書き込み
- ・人的物的防災資源の書き込み
- ・震度分布、津波浸水深や危険箇所の書き込み
- ・地域の課題を洗い出す



地域の自然条件、まちの構造の書き込み



震度分布、津波浸水深や危険箇所の書き込み

◇ 第二段階

- ・被災後の生活をイメージして直面するであろう困難と対策を洗い出す



被災後の生活について議論



ハード対策、ソフト対応を洗い出す

◇ 第三段階

- ・必要な対策の工程を考える
- ・事前の対策やこれからのまちづくりについて考える



被災後の各段階(時間経過)で一番困っていることについて議論



事前の対策やこれからのまちづくりについて議論

■ 東南海・南海地震対応DIG手引書は下記のアドレスよりダウンロードできます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/bosai/jishin/torikumi/chosei/DIGtebiki.pdf>

■ 東南海・南海地震対応DIG手引書に関するお問い合わせは四国地方整備局企画部防災課まで
連絡先: TEL087-811-8310